

# 第91回 俳優志向だから誕生した スマイリー小原の「踊る指揮」

昭和34年3月にフジテレビが開局しますが、3か月後の6月に『ザ・ヒットパレード』がスタートしました。番組の中心にいたのは、ザ・ピーナッツの二人でしたが、いつもその後ろに控え、ブラウン管の端のほうに必ず映っていたのが、ビッグバンドのスカイライナーズを率いていたスマイリー小原でした。そうです、あの「踊る指揮者」です。

スマイリー小原(本名・栗原照夫)は大正10年に横浜で誕生(11年説もあり)、明大在学中だった昭和16年、俳優の「国家試験」を受験して合格しています。当時は昭和14年に施行された国策映画推進のための「映画法」によって、監督・俳優・撮影技師の登録制(つまり国家試験)が実施されていました。

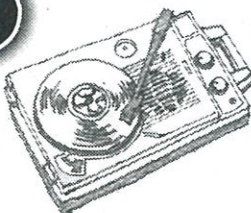
松竹大船撮影所に配属となりますが、翌年召集、中国大陸へと出兵の後、やがて終戦。戦後はソ連の捕虜となり強制収容所に送られますが、学生時代のバンド経験を生かして収容所で楽団を作り、これが帰国後の

人生の礎石となります。苦勞して昭和22年に日本に戻ると再びバンドを立ち上げ、まだ占領期

名曲カルテ

# 昭和歌謡と いつまでも

堀井六郎  
絵・松本浦



間違った昭和20年代、横浜の進駐軍クラブ「ゼブラクラブ」や各地の米軍基地などで演奏活動を続けますが、当時、日本人離れた風貌は周囲からアイランド人とみなされ、こやかな表情からスマイリー・オハラと名乗り始めます。「小原」という日本名ではなく、スカーレット・オハラやアイランド出身の女優モーリン・オハラなどで知られる英米人の苗字「オハラ」でした。

私が中学生だった頃、荏原オデロン座で「007シリーズ」初期2本立て興行を観に行き、蝶ネクタイ姿のショーン・コネリーの映像を初めて目の当たりにしたとき、髪型や眉、顔立ちからスマイリーの姿が重なりましたが、スコットランドやアイランド系の英国顔だったのですね。

昭和27年にサンフランシスコ講和条約が発効され、進駐軍の兵隊が次々と帰米し職場が少なくなっていく中、昭和33年、スマイリーは設立し

て間もなかった渡辺プロと契約し、あらためてスカイライナーズを結成します。初期のメンバーには後の編曲のホームラン王、森岡賢一郎もピアノストとして在籍していました。「ザ・ヒットパレード」という新たな職場を得たスマイリーは水を得た魚のごとく天性のアピール精神を全開させます。

メインの歌い手以上に目を奪われてしまうスマイトで垢抜けた「踊る指揮」は、戦前に日本でも発売されたジャズソング『ミニ・ザ・ムーンチャー(邦題・お嬢ミニ)』を歌ったキャブ・キャロウェイが自らのバンドを指揮するときのスタイルを模倣したものであろうともいわれていますが、

おそらく進駐軍クラブ時代にそうした映像を知り、元来備わっていた俳優志向と自己スタイルがキャロウェイを超えるスマイトなパフォーマンスを誕生させたのでしよう。スマイリーの踊るツイストは日本一イカしていた、と思っっているのは私だけではないはず。



ほりい・ろくろ 昭和27年東京都生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後は25年にわたる出版社勤務を経て独立。現在は出版社経営の他、ライターとしても活躍。『私の「昭和歌謡歌謡」第4集』しあわせになるうね(グスコウ出版)が好評発売中